

豊田市における20年以上にわたる 交通需要マネジメント施策の取り組み

豊田市エコ交通をすすめる会 会長 伊豆原浩二

2002-2004年 のりあいエコデー



2006-2006年 Web TFP



2008年 特定企業通勤マップ



2010-2016年 市民向け啓発

PR活動「エコ commute (ecommuter)」の展開



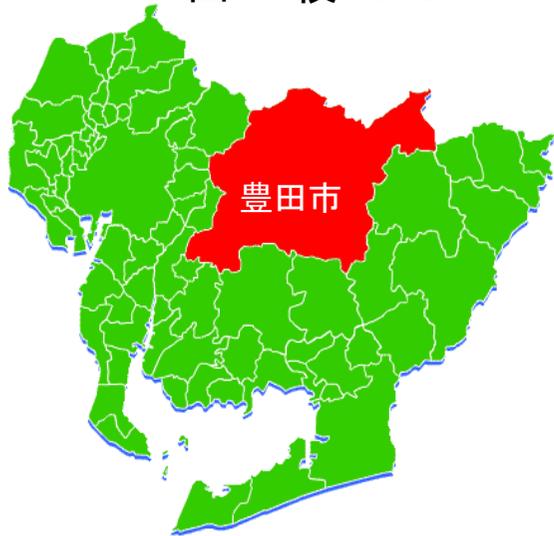
2015年～ 出前教室

1回目：エコ交通、バス乗り方



1. 愛知県豊田市の概要

位置等 人口 42.5万人(2019年1月)
面積 918km²

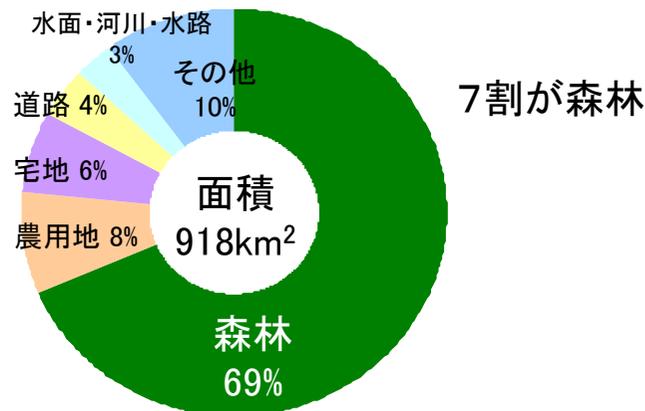


クルマの街・ものづくりの街

- 産業も生活も自動車を中心
- 乗用車の保有台数は1世帯当たり1.59台(2018年3月)
- 製造品出荷額等全国第1位 14兆2463億円(2017年)



土地利用の状況



豊かな自然・農産物・特産品も豊富

- 農業出荷額92億円(2016年)



米



モモ



藤の回廊(藤岡)



香嵐溪の紅葉(足助)

2. 豊田市エコ交通をすすめる会 取り組みの概要

- ・愛知県豊田市では、通勤時間帯の道路交通渋滞対策の一環で、1996年に「TDM勉強会」を設立し、企業など民間主導によるTDMの実現を目指してきた
- ・2008年に「豊田市エコ交通をすすめる会」に引き継がれ、20年以上の間、時代の変化に応じて形を変えながら、交通環境対策に継続的に取り組んでいる

時期	取り組み	内容
1999年～2004年	TDMの日 (後にのりあいエコデー)	特定日に公共交通や相乗りなどへの通勤手段の転換促進
2004年～2006年	TDM社会実験 チャレンジECO通勤	P&R駐車場の確保や複数企業による通勤バスの共同運行、MMによる行動変容等を組み合わせ、一定期間に集中的に実施
2006年～2010年	継続的な通勤MM	Web-TFPを活用した複数年に渡る企業への継続的な取り組み
2008年～現在	特定企業へのMM	通勤等に問題を抱える事業所を対象としたMMの実施や、企業独自の活動への支援の取り組み
2010年～2016年	市民向けの エコ交通の啓発	市民にも啓発の対象を広げ、市内飲食店等とも連携した様々なキャンペーンを実施
2015年～現在	小学校を対象とした 啓発	小学校において出前教室を開催し、子供世代への働きかけによる将来のエコ交通の普及を狙った取り組み

3. 取り組みの概要 主に2010年代

◆特定企業へのMM(2008年から現在)

- 通勤等に問題を抱える企業を対象としたMMの実施や、企業独自の活動への支援の取り組み
- 企業の悩みに応じて 支援方法をカスタマイズ

◆市民向け啓発(2010年から2016年)

- 市民向けのエコ交通啓発活動として、豊田エコ交通月間を企画
- 参加者: 会員事業所従業員+ご家族+一般市民
⇒2015年には、約2,000人の参加者

◆小学校向け啓発(2015年から現在)

- 4年間で市内の小学校のべ16校、約1,300人を対象として交通環境学習を実施
(エコ交通に関する座学、バスの乗り方教室、次世代自動車試乗など)
- 2018年からは ボランティアが講師役を担う



チラシ、ポスター
豊田市エコ交通月間のPR(市民向け啓発)



横断幕(豊田市駅)



小学生向け出前教室の様子・カリキュラム例

エコ交通出前教室 カリキュラム例			
時間	項目	担当	資料
2分	あいさつ	-	-
15分	エコ交通	都交研	エコモ環境BOOK
5分	移動	-	-
20分	バスの乗り方	名鉄バス	バス(試乗)
3分	あいさつ	-	-

4. 取り組みの効果

◆通勤目的の自動車分担率

当会会員事業所の大部分が立地する

豊田市中心部における通勤目的の自動車分担率が

2001年 79% → 2011年 71%

10年間で8ポイント減少

→ マクロな指標でもTDMの効果を確認

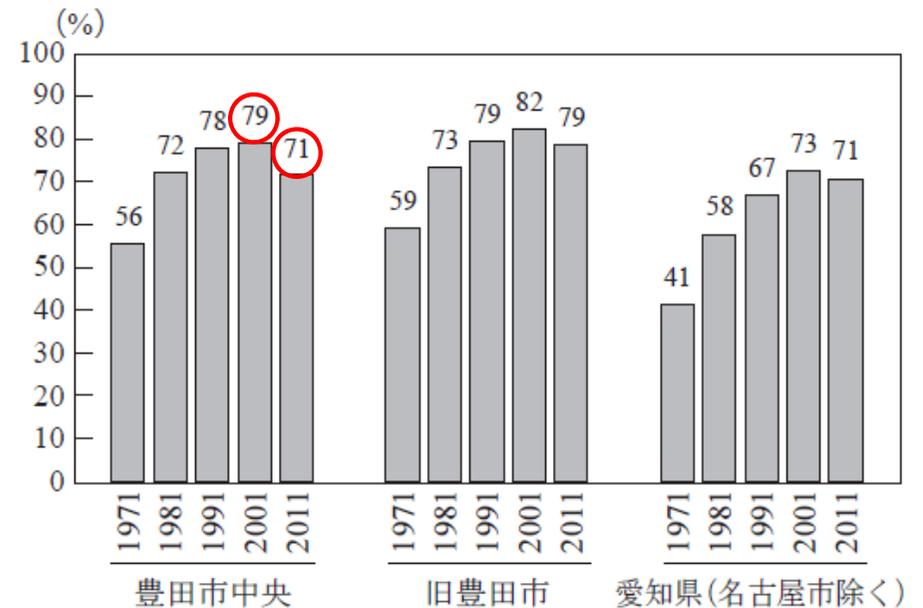


図2：通勤目的発生集中量の自動車分担率の推移

注：中京都市圏 PT 調査データより。

資料 西堀・山崎・樋口：豊田市における継続的な交通需要マネジメント施策の展開に実践組織が果たした役割、実践政策学、第2巻1号、2016年

◆環境改善量

2001年から2011年までの通勤目的自動車交通量の変化と、従業員数の変化をもとに、

エコ通勤優良事業所認証制度のCO2削減量計算方法を用いて計算した結果、

2001年から2011年までのCO2削減量は約4万t-CO2と試算

5. 今後の取り組み

今回の受賞を励みに、当会の事務局である行政・民間・研究所、そして会員企業が協力し、企業・市民を巻き込んで以下の活動を継続して推進していきたい。

- 通勤等の交通手段に課題を持っている企業
- 小学生向け交通環境学習